

「重い皮膚病の人の癒し～中風の人癒し～レビを弟子にする」 共観福音書比較

マタイ8章・9章	マルコ1章	ルカ5章
<p>◆重い皮膚病を患っている人をいやす</p> <p>8:1 イエスが山を下られると、大勢の群衆が従った。</p> <p>2 すると、一人の重い皮膚病を患っている人がイエスに近寄り、ひれ伏して、「主よ、御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と言った。</p> <p>3 イエスが手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち、重い皮膚病は清くなった。</p> <p>4 イエスはその人に言われた。「だれにも話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めた供え物を献げて、人々に証明しなさい。」</p>	<p>◆重い皮膚病を患っている人をいやす</p> <p>1:40 さて、重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と言った。</p> <p>41 イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、</p> <p>42 たちまち重い皮膚病は去り、その人は清くなった。</p> <p>43 イエスはすぐにその人を立ち去らせようとし、厳しく注意して、</p> <p>44 言われた。「だれにも、何も話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めたものを清めのために献げて、人々に証明しなさい。」</p> <p>45 しかし、彼はそこを立ち去ると、大いにこの出来事を人々に告げ、言い広め始めた。それで、イエスはもはや公然と町に入ることができず、町の外の人はいない所におられた。それでも、人々は四方からイエスのところに集まって来た。</p>	<p>◆重い皮膚病を患っている人をいやす</p> <p>5:12 イエスがある町におられたとき、そこに、全身重い皮膚病にかかった人がいた。この人はイエスを見てひれ伏し、「主よ、御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と願った。</p> <p>13 イエスが手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去った。</p> <p>14 イエスは厳しくお命じになった。</p> <p>「だれにも話してはいけない。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めたおりに清めの献げ物をし、人々に証明しなさい。」</p> <p>15 しかし、イエスのうわさはますます広まったので、大勢の群衆が、教えを聞いたり病気をいやしていただくために、集まって来た。</p> <p>16 だが、イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。</p>
◆百人隊長の僕をいやす		
◆多くの病人をいやす		
◆弟子の覚悟		
◆嵐を静める		
◆悪霊に取りつかれたガダラの人をいやす		
<p>◆中風の人をいやす</p> <p>9:1 イエスは舟に乗って湖を渡り、自分の町に帰って来られた。</p> <p>2 すると、人々が中風の人を床に寝かせたまま、イエスのところへ連れて来た。</p> <p>イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、「子よ、元気をだしなさい。あなたの罪は赦される」と言われた。</p> <p>3 ところが、律法学者の中に、「この男は神を冒瀆している」と思う者がいた。</p> <p>4 イエスは、彼らの考えを見抜いて言われた。</p> <p>「なぜ、心の中で悪いことを考えているのか。</p> <p>5 『あなたの罪は赦される』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。</p> <p>6 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に、「起き上がって床を担ぎ、家に帰りなさい」と言われた。</p> <p>7 その人は起き上がり、家に帰って行った。</p> <p>8 群衆はこれを見て恐ろしくなり、人間にこれほどの権威をゆだねられた神を賛美した。</p>	<p>◆中風の人をいやす</p> <p>2:1 数日後、イエスが再びカファルナウムに来られると、家におられることが知れ渡り、</p> <p>2 大勢の人が集まったので、戸口の辺りまですきまもないほどになった。イエスが御言葉を語っておられると、</p> <p>3 四人の男が中風の人を運んで来た。</p> <p>4 しかし、群衆に阻まれて、イエスのもとに連れて行くことができなかったので、イエスがおられる辺りの屋根をはがして穴をあけ、病人の寝ている床をつり降ろした。</p> <p>5 イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、「子よ、あなたの罪は赦される」と言われた。</p> <p>6 ところが、そこに律法学者が数人座っていて、心の中であれこれと考えた。</p> <p>7 「この人は、なぜこういうことを口にするのか。神を冒瀆している。神おひとりのほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」</p> <p>8 イエスは、彼らが心の中で考えていることを、御自分の霊の力ですぐに知って言われた。「なぜ、そんな考えを心に抱くのか。</p> <p>9 中風の人に『あなたの罪は赦される』と言うのと、『起きて、床を担いで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。</p> <p>10 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に言われた。</p> <p>11 「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい。」</p> <p>12 その人は起き上がり、すぐに床を担いで、皆のしている前を出て行った。人々は皆驚き、「このようなことは、今まで見たことがない」と言って、神を賛美した。</p>	<p>◆中風の人をいやす</p> <p>5:17 ある日のこと、イエスが教えておられると、ファリサイ派の人々と律法の教師たちがそこに座っていた。この人々は、ガラヤとユダヤのすべての村、そしてエルサレムから来たのである。主の力が働いて、イエスは病気をいやしておられた。</p> <p>18 すると、男たちが中風を患っている人を床に乗せて運んで来て、家の中に入れてイエスの前に置こうとした。</p> <p>19 しかし、群衆に阻まれて、運び込む方法が見つからなかったので、屋根に上って瓦をはがし、人々の真ん中のイエスの前に、病人を床ごとつり降ろした。</p> <p>20 イエスはその人たちの信仰を見て、「人よ、あなたの罪は赦された」と言われた。</p> <p>21 ところが、律法学者たちやファリサイ派の人々はあれこれと考え始めた。「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」</p> <p>22 イエスは、彼らの考えを知って、お答えになった。「何を心の中で考えているのか。</p> <p>23 『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。</p> <p>24 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に、「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われた。</p> <p>25 その人はすぐさま皆の前で立ち上がり、寝ていた台を取り上げ、神を賛美しながら家に帰って行った。</p> <p>26 人々は皆大驚き、神を賛美し始めた。そして、恐れに打たれて、「今日、驚くべきことを見た」と言った。</p>
<p>◆マタイを弟子にする</p> <p>9:9 イエスはそこをたち、通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、「わたしに従いなさい」と言われた。</p> <p>彼は立ち上がってイエスに従った。</p> <p>10 イエスがその家で食事をしておられたときのことである。徴税人や罪人も大勢やって来て、イエスや弟子たちと同席していた。</p> <p>11 ファリサイ派の人々はこれを見て、弟子たちに、「なぜ、あなたたちの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言った。</p> <p>12 イエスはこれ聞いて言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。</p> <p>13 『わたしが求めるのは憐れみであって、いけにえではない』とはどういう意味か、行って学びなさい。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」</p>	<p>◆レビを弟子にする</p> <p>2:13 イエスは、再び湖のほとりに出て行かれた。群衆が皆そばに集まって来たので、イエスは教えられた。</p> <p>14 そして通りがかりに、アルファイの子レビが収税所に座っているのを見かけて、「わたしに従いなさい」と言われた。</p> <p>彼は立ち上がってイエスに従った。</p> <p>15 イエスがレビの家で食事の席に着いておられたときのことである。多くの徴税人や罪人もイエスや弟子たちと同席していた。実に大勢の人がいて、イエスに従っていたのである。</p> <p>16 ファリサイ派の律法学者は、イエスが罪人や徴税人と一緒に食事をされるのを見て、弟子たちに、「どうして彼は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言った。</p> <p>17 イエスはこれ聞いて言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」</p>	<p>◆レビを弟子にする</p> <p>5:27 その後、イエスは出て行って、レビという徴税人が収税所に座っているのを見て、「わたしに従いなさい」と言われた。</p> <p>28 彼は何もかも捨てて立ち上がり、イエスに従った。</p> <p>29 そして、自分の家でイエスのために盛大な宴会を催した。そこには徴税人やほかの人々が大勢いて、一緒に席に着いていた。</p> <p>30 ファリサイ派の人々やその派の律法学者たちはつぶやいて、イエスの弟子たちに言った。「なぜ、あなたたちは、徴税人や罪人などと一緒に飲んだり食べたりするのか。」</p> <p>31 イエスはお答えになった。「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。</p> <p>32 わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。」</p>